



#### ハイフォンオフィス (本社)

5th floor, Harbour View Office Tower, 12 Tran Phu,  
Ngo Quyen, Haiphong, Vietnam  
Tel: (+84) 225 3836 169  
Email: [info@deepc.vn](mailto:info@deepc.vn)  
Website: [www.deepc.vn](http://www.deepc.vn)

#### クアンニンオフィス

No. 8-9 My Gia Street, Vinhomes Dragon Bay  
Ha Long residential area, Hong Gai ward,  
Ha Long city, Quang Ninh province  
Tel: (+84) 2033 567 848

#### 東京オフィス

東京都港区南青山 3 - 1 - 3  
青山東急ビル6F マーケットアクセス  
電話: (+81) 03-6869-8448  
Email: [info@deepc-jp.com](mailto:info@deepc-jp.com)



DEEP C   
INDUSTRIAL ZONES

# ディープシー工業団地 ベトナム ハイフォン市



# 投資先としてのベトナム

## 成長を続ける国内マーケット

人口 **9,600万人**  
モータリゼーションとITが牽引する産業の成長  
生活水準の急速な向上

## 開かれた貿易環境

ベトナムと自由貿易協定 (FTA)  
締結国のGDP合計は世界GDPの**78%**

## 競争力のある運営コスト

電気料金  
人件費  
各種税優遇

## 競争力のある労働力

勤勉な国民性  
豊富な労働力  
若い平均年齢: **30歳**

## 安定したインフレ率

2015 年以降、**4%**以下

## 安定的な政治体制

ベトナムへの新規・拡張投資認可額  
国別順位で日本は1位  
**87.1億ドル** (2017年)

日本の二国間政府開発援助 (ODA)  
供与相手国としてベトナムは1位  
**11.6億ドル** (2016年)

## 戦略的立地

飛行機で**5時間**、船で5日間の**3,500km**圏内に  
世界人口の約半分となる**35億人**





# ハイフォン市

人口



○ 合計: 200万人

○ 労働年齢人口:  
120万人

GDP成長率

ハイフォン市

16.27%

全国

7.08%

FDI

(海外からの直接投資)

770件以上

資本金: 187億ドル以上

(2018年統計より)

- ▶ ベトナム第三番目の都市
- ▶ 首都ハノイの東105 kmに位置する
- ▶ ベトナム北部の主要港と工業都市
- ▶ 国際大手ホテル、病院、学校等設備
- ▶ 主な港:
  - » ハイフォン港: 20,000DWT
  - » ラックフェン深水港: 100,000DWT

# クアンニン省

人口



○ 合計: 130万人

○ 労働年齢人口:  
78万人

GDP成長率

クアンニン省

12.1%

全国

7.02%

FDI

(海外からの直接投資)

120件以上

資本金: 63億ドル以上

(2018年統計より)

- ▶ ベトナム商工省 (VCCI) 発表の省別投資先ランキング 2017年、2018年 1位
- ▶ ハノイの北東130 kmに位置する
- ▶ 主要産業: 工業及び観光
- ▶ バンドン国際空港が開業
- ▶ ハイフォン港と高速道路で接続
- ▶ 主な港:
  - » カイラン港: 30,000DWT



ハノイ-ハイフォン高速道路



ノイバイ国際空港



HANOI

ハノイ-ハイフォン  
高速道路

北部沿岸高速道路 (計画)



ハノイ - ハイフォン高速道路

全長105 km

最高速度: 120km/h

ハイフォン - ハロン - 中国  
を結ぶ高速道路

バックダン橋の完成でハイフォン  
からハロンまで25 km

ハロンからバンドンまでの  
高速道路54kmが開通

バンドンから中国国境モンカイ  
までの高速道路80kmは2020年  
に完成予定

2021年以降、ハイフォン-  
深圳間が陸路10時間で行き来  
可能となる

北部沿岸高速道路 (計画)

全長550 km

クアンニンからタンホア間の  
6つの省をつなぐ

ハイフォン・ハロン・中国  
の国境高速道路

バンドン国際空港



QUANG NINH

カットビ  
国際空港

ハイフォン港



カイラン港

ラックフェン  
深水港

HAIPHONG

ハイフォン市



ハイフォン港 20,000DWT

水深: 7m ~ 9m

貨物量: 13,000万 トン (2019年)

カイラン港 30,000DWT

水深: 10m

貨物量: 7,430万トン (2018年)

ラックフェン深水港  
100,000DWT

水深: 14m

貨物量: 41,9万 TEUs (2019)

貨物量: 約12,000万トン  
(2030年)

開業: 2018年5月 (2 バース)



ハノイ・ノイバイ国際空港

新ターミナル、新滑走路

乗客数: 2100万人/年

将来性: 5000万人/年 (2030年)

貨物量: 203,000トン/年

ハイフォン・カットビ国際空港

乗客数: 320万人/年

拡張の予定: 年間1,300万人、  
貨物量25万トンに対応  
(2021年以降)



クアンニン・バンドン国際空港

乗客数: 250万人/年

貨物量: 1万トン/年





# DEEP C (ディープ・シー) 工業団地

## 戦略的立地

ベトナム北部の物流インフラの中心

DEEP C (ディープ・シー) 工業団地は1997年にベルギーの港湾開発会社Rent-A-Port社とハイフォン市が連携し、ハイフォンのDinh Vu地区にDinh Vu工業団地 (DVIZ) として営業を開始。その後順調に投資家を集め、事業用地をベトナムで最大クラスとなる**3,400ヘクタール**に拡大。2015年から工業団地の名称をDEEP Cと改め、ハイフォン港とクアンニン省周辺の**5つの工業団地**の開発と運営を行っています。

## 事業用地のリース



## レンタル工場/倉庫/オフィス



床面積: 5,400m<sup>2</sup> | 4,050m<sup>2</sup> | 2,700m<sup>2</sup> | 1,350m<sup>2</sup>  
床積載量: 2.5トン/m<sup>2</sup>

天井高: 9m  
カスタム工場のレンタルにも対応



# 共有設備とサービス

## 工業団地の管理



## 電力



- ＞ 電源：国家送電網、地方送電網
- ＞ 地下配電
- ＞ ネットワークの二重化
- ＞ 再生可能エネルギーの取組み



## 給水と排水

- ＞ 上水の供給
- ＞ 純水、スチームの供給
- ＞ ISO 9001 & 14001取得の下水処理施設

## 排水システム



## 通信ネットワーク

- ＞ 工業団地内ネットワークの二重化
- ＞ 複数のキャリアから契約先を選択可能

## エネルギーハブ



- ＞ DEEP C Haiphong Iの石油化学ゾーンに入居する複数のテナントから各種の燃料、ガスおよび化学製品の調達が可能

## 消火システム

- ＞ 消化用水を地下埋設のループ網供給

## ゴミ収集のサービス

# 顧客サポート

- ＞ 顧客サポートを行う専属チームが投資登録証明書及び事業登録証明書の取得を代行
- ＞ ライセンスの取得後も日々の運営をサポート



# 経済区の税優遇

- ＞ 15年間は平均4.35%の法人所得税控除
- ＞ 最初の売り上げから適用を開始
- ＞ 利益のない場合、3年まで免税期間を延長
- ＞ 一般の法人税の税率： 20%

### ケース 1：1年目から利益がある場合

|       |   |       |   |       |   |        |
|-------|---|-------|---|-------|---|--------|
| 最初4年間 | ＞ | 次の9年間 | ＞ | 次の2年間 | ＞ | 16年目以降 |
| 0%    |   | 5%    |   | 10%   |   | 20%    |

### ケース 2：3年間利益がない場合

|        |   |       |   |       |   |      |   |        |
|--------|---|-------|---|-------|---|------|---|--------|
| 最初の3年間 | ＞ | 次の4年間 | ＞ | 次の8年間 | ＞ | 次の1年 | ＞ | 17年目以降 |
| 0%     |   | 0%    |   | 5%    |   | 10%  |   | 20%    |



# 長期的なパートナー

世界中から 120 社以上が進出し事業を行っています



“

DEEP Cに進出を決めた最初の会社として、20年以上に亘って、電力の供給や液体貨物埠頭の運営などでDEEP Cの継続的な成長と改善を見てきました。おかげさまで2013年には輸出を開始、事業を2倍に拡大することができました。

シェブロンルーブリカンズベトナム株式会社

サプライチェーンマネジャー  
ヴァー・アイン・トゥアン氏

”

“

当社は最初別な工業団地でベトナムの事業を開始しましたが、2008年に日本企業としては初めてDEEP Cへの進出を行いました。決め手となったのは港に近い立地、経済区の税優遇、そしてインフラ開発に対する期待です

”

ナカシマ・ベトナム株式会社

山本 晃 社長